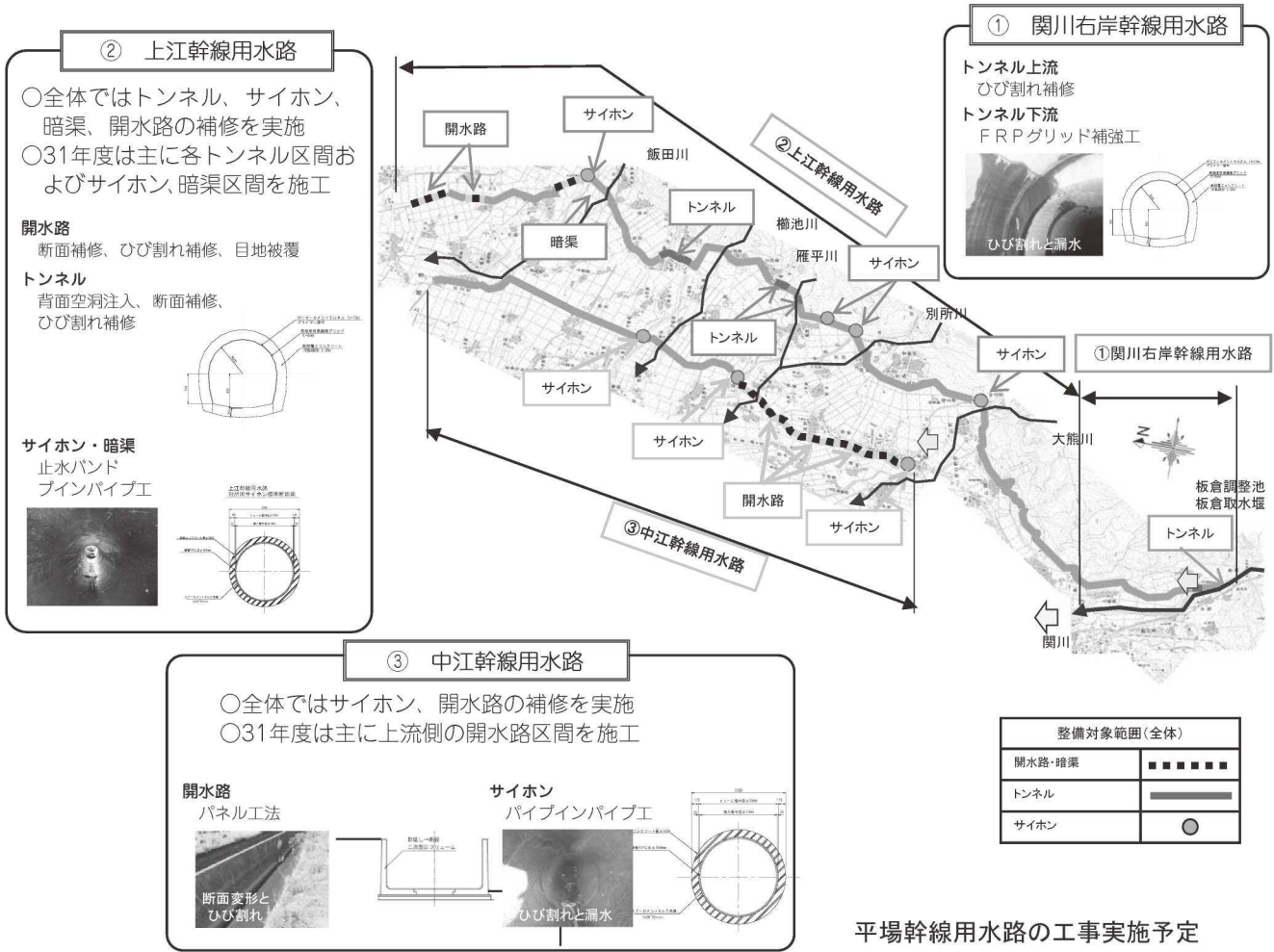


# 国営事業だより 第5号

— 関川用水農業水利事業の平成31(令和元)年度実施計画、4月に着任した事業所員紹介 —

令和元年6月

北陸農政局関川用水農業水利事業所  
上越市稲田1-1-7 TEL (025)521-6040  
関川地区土地改良区連合  
上越市大字長面14-1 TEL (025)524-8800



平場幹線用水路の工実施予定

○全体での改修対象延長 L=6.7km [全延長の約20% ΣL=34.1km]

## ○ 国営関川用水地区の実施状況

国営関川用水地区は、本年度（平成31・令和元年度）で着工から6年目となりますが、平成26年度の着手以来、主に笹ヶ峰ダムにおける設備改修と小水力発電所の建設を優先的に進めてまいりました。

昨年度にはダム取水ゲートの更新が完了したほか、ダム管理のための繋船設備の改修、ダム管理設備の改修と小水力発電所の附帯施設の建設等を行いました。

また、幹線用水路の改修にも着手し、関川右岸幹線用水路上隧道の補修工事や上江・中江幹線用水路の測量・設計等を行いました。

今年度には、ダムにおいては洪水吐ゲートの改修を行うほか、ダム周辺の管理用道路トンネルや法面の補修工事を行う予定です。また、7月には小水力発電所の本格稼働を予定しております。

幹線用水路においても本格的に更新に着手する予定であり、上江・中江幹線用水路において主に河川横断に係るサイホン部分やトンネル部分を中心に改修工事を行う予定です（上図）。

また、笹ヶ峰ダムの堆砂にかかる課題に関しては、昨年度から学識経験者による委員会においてこれまでの集中豪雨や台風等の影響による堆砂量や今後の堆砂予測等について検討を行っております。今年度も引き続き堆砂対策の具体的な工法案等について検討を進めてまいります。

## 平成31年4月に着任した職員

○関川用水農業水利事業所は平成31年4月から異動者の引き継ぎと増員を合わせて8名が着任しました。国営事業だよりでは、着任した所長、次長のご挨拶と課長の紹介を掲載いたします。

### (1) 所長、次長着任ご挨拶



所長

【氏名】

横田 憲一郎 (よこた けんいちろう)

【前職】

独立行政法人 国際協力機構 参事役

本年4月に関川用水農業水利事業所長に着任しました横田憲一郎と申します。前々職のカンボジア赴任から数えて、約5年ぶりの国内業務となります。出身は熊本で、人生初の北陸勤務となります。慣れない大雪に今から戦々恐々としておりますが、美味しいお酒や食べ物を糧に頑張っていきたいと思っております。

赴任早々、地域のシンボルとして取り上げられている「妙高の跳ね馬」が、かつては農作業の目安とされた話を聞き、甚く風情を感じました。他方、当地区も昨今の営農形態の変化による作期の分散がみられ、担い手不足など農業情勢の変化に呼応した効率性重視のスマート農業の推進や野菜等の高収益作物の導入も求められています。

国営事業では、笹ヶ峰ダム及び幹線用水路の改修を通じて、農業用水の安定供給や維持管理の軽減を図ることが主目的であり、職員一同鋭意取り組んで参りますが、併せて、地域の特色を活かしつつ、情勢の変化を踏まえた農業振興策を関係者の皆様方と共に考えていければと思っておりますので、宜しくお願いします。



次長

【氏名】

田嶋 哲也 (たじま てつや)

【前職】

北陸農政局 土地改良技術事務所 次長

本年4月に関川用水農業水利事業所次長に着任しました田嶋哲也と申します。

この地に来て驚いたのは、間近に見える妙高山の秀麗な山容です。別名、越後富士とも呼ばれ、雪解け時期には雪形が跳ね馬となり、地域のシンボルとして古くから親しまれていますが、地域の農耕の歴史と土地改良施設の歴史的・文化的な価値にも驚いているところです。

現在、本地域は県下でも有数の優良農業地帯になっていますが、この地を開拓した先人の努力と英知、世界かんがい施設遺産の登録などの高い農業土木技術の礎によるものです。

我々は、これらの土地改良施設を整備していますが、今後も地域農業の発展にお役に立てるよう国営土地改良事業を進めてまいります。

今後とも宜しくお願い致します。

### (2) 着任課長ご紹介



工事課長

【氏名】

酒井 淳一 (さかい じゅんいち)

【前職】

北陸農政局

西北陸土地改良調査管理事務所 射水平野支所長